

令和6年度 五島市立玉之浦小中学校 学校経営方針

1 はじめに

教育基本法の精神に基づき、長崎県教育委員会・五島市教育委員会の教育方針・理念に則り、本校の児童生徒や地域社会の実態及び保護者や時代の要請を踏まえつつ、小中併設校の強みを生かしながら、将来の夢の実現に向けて、ひたむきに前進しようとする心身ともにたくましい人間性豊かな児童生徒の育成に努める。

2 校訓 「創造」「親和」「鍛錬」

3 学校教育目標 「笑顔輝く」

4 育成したい資質・能力

- 相手意識や目的意識をもち、自分の考えを深め、適切に表現できる力【思考力・判断力・表現力】
- 友達の考えや教師の説明を聞き、正しく理解し活用できる技能 【知識・技能】
- 友達の考えを受け入れ、自分の考えを高めようとする意欲 【学びに向かう力、人間性】

5 学校経営の基本方針

学校は、ここにいることで幸せを感じ、一人一人が笑顔を輝かせながら未来を拓いていく力を身に付けていく場である。その実現に向け、以下の3点に特に力を注いでほしい。

- 学校の役割を共有し、学校教育目標の具現化に向け実践し続ける
 - ① 学力の保障 未来で笑顔輝くための学力を保障する。
 - ② 社会性の育成 自他を認め、人とのつながりの中で動くことができる力を身に付けさせる。
- 信頼関係の構築に努める
 - ① 一人一人みんな違う
一人一人が独立した人格であることを忘れず、指導・支援にあたる。
 - ② 指導姿勢の基本
子供を侮ることなく、怯むことなく丁寧に対応
 - ③ 矜持を貫く
本校職員であることに自信や誇りをもって職務の遂行にあたる。
- 保護者、地域と連携・協働する
 - ① 未来ある子供たちの生きる（生き抜く）力の育成のために、学校・家庭（保護者）・地域が協力しながら教育活動を展開する。（トライアングルハッピーを目指す）
 - ② 小中併設校としての強みを活かした学校づくりに努める。（互いに学ぶ場づくり）
 - ③ CSに向け、地域に出かけ、地域を呼び込む。（地域とともにある学校）

- (1) 目指す学校像
 - 知性を磨き合う学校【創造】
 - 互いを認め合う学校【親和】
 - 健康を保持増進する基礎をつくる学校【鍛錬】
- (2) 目指す子供（児童・生徒）像
 - 学ぶ喜びを感じる子供【知】
 - 互いに認め合う子供【徳】
 - 心身ともに健全な子供【体】
- (3) 目指す教師像
 - 自己研鑽に努める教師
 - 一人一人と向き合う教師
 - 信頼を得る教師

6 重点努力事項 ※人事評価票（業績評価）との関連 ※項目1＝人事評価票に準ずる

項目1	項目2	具体的な行動目標と実践事項の例
① 教育課程 ・ 学習指導	基礎・基本の定着と思考力・判断力・表現力の育成	○ 学ぶ意欲を高め、未来を拓く学力を身に付けさせる。 ・「主体的・対話的で深い学び」を意識した授業づくり ・表現する場の意図的・計画的な設定（練り合い・開き合い・振り返り） ・理解の状況に応じた個別指導 ・小中間での連携の推進（教科内容の系統の意識や、小中間で子供の学びをつなぐ学習 など）
	家庭学習による基礎基本の定着と深化	○ 家庭学習の充実に努める。 ・個に応じた質と量 ・意欲を喚起する関わり（褒める・認めるなど） ・家庭との連携（保護者への啓発） ・タブレット PC の活用（タイピングの練習など）
② 生徒指導	学級経営	○ 児童生徒一人一人に寄り添った学級づくりを進める。 ・学級目標と連動した具体的な方策の実践 ・児童生徒や保護者との信頼関係の構築 ・子供の変化に気付く教師（複数の目で観察し、情報交換に努める。）
	道徳教育・人権教育の推進	○ 相手の気持ちを理解し、思いやりのある言動ができる学校・学級をつくる。 ・互いの違いを認め合う（子供の呼称は、「〇〇さん」） ・日々の生活の中での人権・平和教育の指導
	特別活動の活性化	○ 自分の役割に責任をもち、積極的に行動させる。また、児童生徒と一緒に学び合える活動づくりを模索する。 ・委員会や係活動での主体的な行動 ・生徒会活動の活性化（リーダー育成） ・ふるさと教育の充実 →行事の継承や地域の人材や文化等を活かす

② 生徒 指導	生活指導・生徒指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「時を守り，場を清め，礼を正す」を習慣づける。 ・さわやかなあいさつで地域に元気をプレゼント ・時間を守り，余裕をもった行動 ・整った環境づくり ・「きまり」を守る（理由や価値を伝える）
	キャリア教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学ぶ意義や働く意義，よりよく生きることについて考えさせる。 ・夢，憧れ，志を育むキャリア教育 ・進路の実現に向けた学力保障 ・キャリアパスポートの活用
	体力向上および部活動指導	<ul style="list-style-type: none"> ○ 進んで体を鍛え，体力を身に付けさせる。 （体力向上は，多くの活動を支える基礎的な力になる。） ・走運動の推奨（基礎体力の増進） ・効率的，効果的な部活動指導
	健康生活と保健指導	<ul style="list-style-type: none"> ○ 健康と安全に心がけて行動できる子供を育成する。 ※ 感染症予防に対応した衛生管理と指導は継続する。 ・衛生習慣の定着 ・安全な給食の提供 ・行事や学級活動，給食時間における食育指導 ・季節に合った衣服の着用
	学びを広げる指導	<ul style="list-style-type: none"> ○ 人に触れ本物に学ぶ，活字に親しむ活動を仕組む。 ・GTの招聘など，本物に触れる機会をつくる。 （CSの活用） ・読書活動 ・作品（俳句・短歌・詩など）の創作
校務分掌	<ul style="list-style-type: none"> ○ 使命感と協働の精神を大事にした分掌事務に努める。 ・お互い様の精神で，協力・協働で円滑な業務遂行 ・管理職や関わりのある担当との連絡や相談 	
③ 学校 運営	家庭や地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教育活動や情報を発信し，地域とともにある学校づくりに努める。 ・保護者との積極的な対応（「教育は今日行く」…スピードが求められる事案，複数職員間での対応と情報共有） ・学級通信・各種通信・学校だより・ホームページなどでの積極的な情報発信 ・PTAおよび地域との相互連携（CSの活用）
	教育環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ○ 環境づくりを通して学校教育を推進する。 ・掲示教育（掲示板の有効活用や背面黒板や掲示物の正しい表現を大切にする。） ・学級園での栽培・花づくりや生き物の世話 ・教室や校舎，校地の環境整備